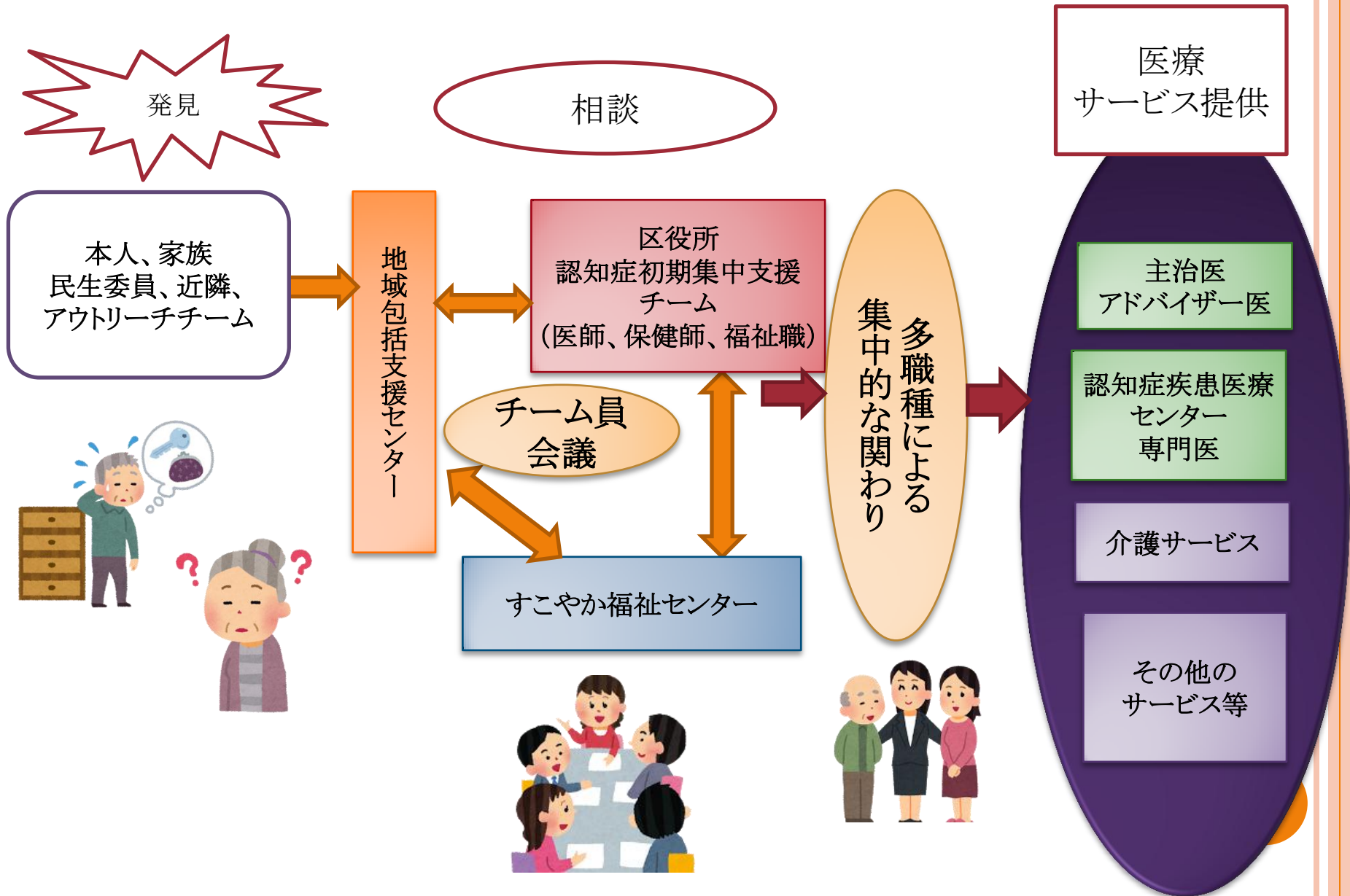




# 中野区認知症相談体制

中野区地域包括ケア推進分野

# 認知症相談体制



# 中野区の初期集中支援チーム

平成28年度より  
区役所にチームを設置

## チーム員

医師 医師会より派遣  
チーム員会議に2名  
(1名認知症専門医、1名認知  
症アドバイザー医)

医療職 区役所地域包括ケア  
推進分野保健師

福祉職 区内社会福祉士、介  
護福祉士に委託

## チーム員会議

頻度 月1回  
場所 区役所  
参加者

チーム員  
地域包括支援センター職員  
すこやか福祉センター職員  
関係機関職員

- ・主に地域包括支援センターより依頼のあったケースについて対応する。
- ・チーム員会議に出席した医師が、事例の概要を医師会員にメールにて情報提供。
- ・年1回医療・介護関係者への報告会を実施し、対応力の向上を目指す。
- ・同じ部署に認知症支援コーディネーターも配置されており、ケースの状況により、アウトリーチチームも活用している。



# 認知症初期集中支援チームの実績

## 28年度

- ・相談受理ケース数43件
- ・チーム員訪問回数50回
- ・チーム員会議 11回
- ・検討ケース数 19件
- ・終結ケース 9件

(平成29年3月現在)

## 29年度(4～10月)

- ・相談受理ケース数25件
- ・チーム員訪問回数45回
- ・チーム員会議 7回
- ・検討ケース数 13件
- ・終結ケース 件

## 相談ケースの傾向(28年度)

### 【家族の有(同居または近く)のケース 11/19】

家族はいてもご本人の拒否が強く医療・介護を導入できない、家族間のトラブルや家族自身に問題あり、BPSD等により家族が困っている

### 【独居でキーになれる親族が遠方またはいないケース 8/19】

認知症初期や問題が顕在化しないと関わりが難しい、遠方の家族との調整が難しい

### 【認知症が進行し、虐待やゴミ屋敷など解決が困難なケース8/19】

独居または家族に問題ありの場合がほとんど

### 【認知症か他の精神疾患か鑑別が必要なケース9/19】

精神科医の判断が必要な場合も

### 【かかりつけ医のいなかったケース8/19】

医療につなげる機会の工夫等チーム員会議で検討

# その他の認知症対策トピックス

認知症の啓発「認知症にやさしい地域作り」

- 区職員全員のサポーター養成講座の受講
- 図書館の委託事業者も全員受講  
    図書館を中心とした認知症啓発の広がり
- 認知症サポートリーダーの育成

